

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: 執行役 飛田留美子 TEL:03-3862-2768

◆売上高 前年対比

(金額単位:千円)

9月度(単月)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)	151,692	153,107	100.9%
メイキングトイカテゴリ(注2)	51,315	4,112	8.0%
その他(遊具・乗り物・育児等)(注3)	23,918	11,506	48.1%
海外販売・ロイヤリティ収入	769,640	35,991	4.7%
合計	996,565	204,716	20.5%

2～9月度(累積)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)	817,730	815,591	99.7%
メイキングトイカテゴリ(注2)	135,908	19,684	14.5%
その他(遊具・乗り物・育児等)(注3)	229,441	100,371	43.7%
海外販売・ロイヤリティ収入	2,795,564	156,594	5.6%
合計	3,978,643	1,092,240	27.5%

(注1)旧「乳児・知育玩具カテゴリ」。

(注2)2024年1月期はお人形シリーズ(ぼぼちゃんシリーズ)を含んでおります。

(注3)「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリ」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

◆9月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリ名	商品名	標準小売価格(税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	「いたずら1歳やりたい放題 カスタム」	¥3,850
	「ピタゴラスコースター スーパーDX」	¥33,000

◆9月度および直近TOPICS

●乳児・知育・構成玩具カテゴリでは、当月、既存シリーズから新発売した2品、「いたずら1歳やりたい放題 カスタム」(やりたい放題シリーズ)と、高額品の「ピタゴラスコースター スーパーDX」(ピタゴラスシリーズ)がともに非常に良い初動で、今後も売上貢献が期待されます。また、為替相場が円高ドル安方向に進んだことから、海外製造での輸入が主となる当社業態においては、仕入のドル円換算において円高が有利に働く傾向にあります。

【新発売商品】

「いたずら1歳
やりたい放題
カスタム」



「ピタゴラスコースター
スーパーDX」



●直近のメディア掲載情報

・【WEB】【新聞】産経新聞に「おもちゃとジェンダー」NIE新聞大会の記事が掲載されました。

https://www.sankei.com/article/20240921-7GYG337VRJOMJJTN3CDDFKLBY/?outputType=theme_nie・【WEB】「社長名鑑」にて代表・桐淵のインタビューが掲載されました。 https://shachomeikan.jp/industry_article/2951・【TV】フジテレビ「イット!」にてピープルの子連れ出社が紹介されました。 <https://www.fnn.jp/articles/-/753282>

■ 第1回「個人投資家向け会社説明会」の動画を配信しております。これからの事業活動について、過去からの当社の歴史も踏まえつつ、代表者よりご説明する内容です。宝印刷発行IRマガジン『ジャパニーズインベスターオンライン』～オンライン個人投資家説明会 <https://japaneseinvestor.jp/briefing/> または、当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に説明会動画を掲載しておりますので、ぜひご視聴ください。

当社は現在、収益性の低いカテゴリを終了させ、2026年1月期の「好奇心事業」ローンチにリソースを集中し、再び成長路線に入る計画の途上にあります。

そのため、お人形ぼぼちゃんや自転車、これら商品の製造販売を終了させたこと、また米国向け「Magna-Tiles」の販売契約が変更になったこと(※)により、当期は一時的に業績が下がることを見据えながら、2026年1月期の新事業スタートまでの短期的対策として、下記の優先順序で施策を行います。

- (1)収益性の高い、ピタゴラス、ねじハピ、やりたい放題の主力3商品にリソースを絞り、粗利率を確保しつつ売上を確保
- (2)アジアを中心とした新たな海外販路の確保
- (3)ドラステックな経費削減

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 <https://note.com/people.pr>

(※)米国向け「Magna-Tiles」の販売契約変更について

これまでの当社がディストリビューターから受注した商品をOEM販売する形態から、ディストリビューターが工場と直接取引をする傍ら当社はロイヤリティ収入を得る形態へ変更となりました。

この変更により、当該売上高はこれまでより大幅に減少するものの、社内の人的リソースを使わずにロイヤリティという形で収益が得られることとなります。

(ご参考)業績予想(2024年8月30日公表)

2025年1月期第3四半期(2024年1月21日～2024年10月20日)業績予想

	2025年1月期第3四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	1,249	28.4
営業利益	△179	—
経常利益	△176	—
四半期純利益	△183	—